

事業所名

A to Z Academy児童発達支援

支援プログラム

作成日

令和6年

7月

1日

法人(事業所)理念		「未来の輝きを育む」 すべての子どもたちが持つ無限の可能性を信じ、その個性と強みを最大限に引き出すことを使命としています。健康で充実した生活、活発な運動と感覚の発達、そして豊かな言語とコミュニケーションを促進することで、子どもたちの成長と発展をサポートします。また、子どもたちが自己を表現し、お互いに高め合う場を提供することで、未来を切り開く力を育ててまいります。								
支援方針		お子様ひとりひとりの個性を大切に、信頼関係を構築しながら着実に将来に繋げてまいります。また、お子様だけでなく保護者様のご支援に注力いたします。								
営業時間		9時	30分	から	18時	0分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
		ねらい		支援内容				支援方法例		
健康・生活		<ul style="list-style-type: none"> <li>健康状態の維持・改善</li> <li>生活習慣や生活リズムの形成</li> <li>基本的な生活スキルの獲得</li> <li>生活におけるマネジメントスキルの育成</li> </ul>		<p>&lt;健康状態の維持・改善&gt;</p> <p>①健康状態の把握と対応 子供の心身の健康を育て、安全な生活をサポートする。小さな変化をきめ細やかに確認し、異常等に迅速に対応する。意思表示が難しい子供の障害や発達特性に配慮する。</p> <p>②リハビリテーションの実施 子供が日常生活や社会生活を送れるよう、身体的・精神的・社会的な支援を行う。 &lt;生活習慣や生活リズムの形成&gt; 子供が健康な生活リズムを身につけられるよう、睡眠、食事、排泄の習慣をサポートする。楽しい食事のために口の機能にも配慮し、自助具の支援も行う。衣服や室温の調整、病気予防も実施する。</p> <p>&lt;基本的生活スキルの獲得&gt;</p> <p>①基本技能の取得 子供が生活に必要な基本技能(食事、排泄、睡眠、衣類の着脱、清潔を保つ)を身につけられるよう、個々に応じた適切な支援する。</p> <p>②生活環境の調整 遊びや体験を通じた学びを促進するための環境整備。障害特性に配慮して時間や空間を分かりやすく構造化する。</p>				<p>時計の読み方と時の流れの理解: 時間の概念を理解し、時計の読み方を習得する。</p> <p>基本的な生活習慣の習得: 手洗い、うがい、食器洗いなどの基本的な習慣を身につける。</p> <p>時間の有効活用: 学校や園と事業所に通う生活習慣を整え、知識やスキル向上のために時間を活用する。</p> <p>時間厳守と活動の切替: 時間を厳守し、次の活動へスムーズに移るための訓練を行う。</p> <p>金銭管理と計算能力の習得: おやつや選択を通して、お金のやり取りや基本的な計算概念を学ぶ。</p> <p>片付けと整頓: 身なりや整理整頓の習慣を身につけ、将来的に自立した生活を送るための基盤を築く。</p>		
運動・感覚		<ul style="list-style-type: none"> <li>姿勢と運動・動作の基本的技能の向上</li> <li>姿勢保持と運動・動作の補助手段の活用</li> <li>身体の移動能力の向上</li> <li>保有する感覚の活用</li> <li>感覚の補助及び代行手段の活用</li> <li>感覚の特性への対応</li> </ul>		<p>&lt;姿勢と運動・動作の基本的技能の向上&gt;</p> <p>姿勢保持、関節の拘縮予防、筋力の維持・強化を支援し、日常生活に必要な動作の基本技能を向上させる。</p> <p>&lt;姿勢保持と運動・動作の補助手段の活用&gt;</p> <p>必要に応じて姿勢保持の観点から運動や動作の補助を行う。</p> <p>&lt;身体の移動能力の向上&gt;</p> <p>日常生活や社会活動に必要な移動能力を高める。</p> <p>&lt;保有する感覚の活用&gt;</p> <p>視覚、聴覚、触覚などの感覚を活用し、活動を通じて支援する。</p> <p>&lt;感覚の補助及び代行手段の活用&gt;</p> <p>障害の状態や発達の段階、興味関心に応じて、眼鏡や補聴器、情報収集や状況把握をサポートする。また、他の感覚や機器による代行も支援する。</p> <p>&lt;感覚の特性への対応&gt;</p> <p>感覚の特性を踏まえ、感覚の偏りに対する環境調整等の支援を行う。</p>				<p>着座姿勢の訓練: 机上での学習時に座位保持の訓練を行う。また、状況に応じて壁に背を付けて座ることで正しい姿勢を覚える等、自力での座位保持を定着させる。</p> <p>微細運動の強化: ①ビーズ通し: 細かいビーズを紐に通し、手指の巧緻性と目と手の協応を向上させる。 ②パズルの組み立て: 小さなパズルピースを組み合わせて手指の操作性と空間認識能力を向上させる。 ③粘土遊び: 粘土をこねたり形を作ったりすることで手の筋肉を強化し、創造力を刺激する。 ④紐結びや靴紐の練習: 紐を結ぶことで指の精度と協調性を向上させる。 ⑤指先での絵画やお絵描き: 絵を描くことで手先の器用さと創造力を伸ばす。</p> <p>書字に向けた指先のトレーニング: 指先の巧緻性と鉛筆の持ち方を訓練することで書字能力を向上させる。</p> <p>はさみの使い方のトレーニング: ハサミの持ち方と使い方を練習する。また、太線で描かれた図形の線の中央を切る練習をすることで指先の力とコントロール力を鍛える。</p>		

本人支援	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知の特性についての理解と対応</li> <li>・対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得（感覚の活用や認知機能の発達、知覚から行動への認知過程の発達、認知や行動の手掛かりとなる概念の形成）</li> <li>・行動障害への予防及び対応</li> </ul>	<p>&lt;認知の特性についての理解と対応&gt; 各個人の認知の特性を理解し、情報の適切な処理をサポートする。個々のこだわりや偏食にも柔軟に対応する。</p> <p>&lt;対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得&gt; ・視覚、聴覚、触覚などの感覚を活用し、認知機能の発達を支援する。 ・知覚情報を過去の経験と照合し、環境を理解し適切な行動を促す。 ・大きさ、数、空間、時間などの概念を形成し、認知や行動の手掛かりを支援する。</p> <p>&lt;行動障害への予防及び対応&gt; 感覚や認知の偏り、コミュニケーション困難に起因する行動障害の予防と対応を行う。</p>	<p>聴覚の強化:絵本の読み聞かせを通じて集中して聞く練習を行います。また、指示を聞いてその通りに動けるよう活動を通じて学びます。</p> <p>視覚追従能力の向上:色とりどりのボールを使用して、目で追いかける練習を行います。ボールをゆっくりと動かし、徐々に速度を上げることで視線を維持するトレーニングを行います。</p> <p>文字や数字の認識:ひらがなや数字のフラッシュカードを用い、形の判別を訓練します。また、文字や数字を指でなぞる活動を取り入れ、記憶と認識を強化します。</p> <p>数と比較の概念習得:カウントゲーム（例：数の多い/少ないものを見つける）を通じて、数の概念を理解させます。また、ブロックを用い大小の比較を行うことで視覚的概念を学びます。</p> <p>情報選別能力の向上:情報の取捨選択を訓練するため、複数の絵カードから指定された絵を選ぶゲーム等を行います。また、短い文章を読み、重要なキーワードを抜き出す練習を行います。</p>
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーションの基礎的能力の向上</li> <li>・言語の受容と表出</li> <li>・言語の形成と活用</li> <li>・人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得</li> <li>・コミュニケーション手段の選択と活用</li> <li>・状況に応じたコミュニケーション</li> </ul>	<p>&lt;コミュニケーションの基礎的能力の向上&gt; 障害の種類や程度に応じ、言葉や表情、身振り、機器を使った意思疎通を支援する。</p> <p>&lt;言語の受容と表出&gt; 話し言葉や文字、記号を用いて、相手の意図を理解し、自分の考えを伝える能力を育成する。</p> <p>&lt;言語の形成と活用&gt; 言語を通して、事物や現象、自己の行動に対応する概念を形成し、体系的な言語力を身につける。</p> <p>&lt;人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得&gt; 人との相互作用を通して、共同注意や適切な言動を学ぶ。</p> <p>&lt;コミュニケーション手段の選択と活用&gt; ・指差し、身振り、サイン、手話、点字、音声、文字など、多様な手段を用いて意思疎通を支援する。 ・コミュニケーション機器を適切に活用し、情報の伝達を円滑にする。</p> <p>&lt;状況に応じたコミュニケーション&gt; 人間関係や状況を把握し、適切なコミュニケーションを支援する。</p> <p>&lt;読み書き能力の向上&gt; 特性に応じた読み書き能力の向上を支援する。</p>	<p>語彙の拡充:絵本の読み聞かせを実施しています。読み聞かせを通じ、新しい単語や文章校正を学ぶセッションを設けています。また絵柄付きフラッシュカード等を用い楽しく語彙を増やします。</p> <p>発音の矯正:正しい口の動きや舌の使い方を確認しながら、ひとりひとり発音を修正し定着を促します。</p> <p>話し方と言葉遣いの改善:ロールプレイングやシナリオを用い、適切な話し方や言葉遣いを訓練します。</p> <p>意見表明の訓練:日直担当制を設け他者から注目を浴びる中で、自分の意見を明確に言葉で伝えるスキルを養います。また、言葉以外の方法で気持ちを表現する場合に適切な方法での意思疎通を根気よく訓練いたします。</p> <p>聴取態度の改善:集団活動では相手の話をよく聞く態度を身につける練習を行います。</p>
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アタッチメント（愛着）の形成と安定</li> <li>・情緒の安定</li> <li>・他者との関わり（人間関係）の形成</li> <li>・遊びを通じた社会性の発達</li> <li>・自己の理解と行動の調整</li> <li>・仲間づくりと集団への参加</li> </ul>	<p>&lt;アタッチメント（愛着）の形成と安定&gt; 愛着の形成:子供が信頼感を持てるよう、安心感や信頼感を育む支援を行う。 愛着の安定:感情が不安定な時に大人が相談に乗り、安心感を提供する。「安心の基地」の役割を果たせるよう支援する。</p> <p>&lt;情緒の安定&gt; 感情や生理的状態を安定させ、安定した情緒の下で生活できるよう支援する。</p> <p>&lt;他者との関わり（人間関係）の形成&gt; 他者の気持ちや意図を理解し、適切な行動ができるよう支援する。</p> <p>&lt;遊びを通じた社会性の促進&gt; 模倣行動の支援:遊びを通じて人の動きを模倣し、社会性や対人関係を構築する。 感覚・運動遊びから象徴遊びへの支援:感覚や運動遊びから象徴遊びへと発展させ、社会性を育む。 一人遊びから協同遊びへの支援:一人遊びから協同遊びへと発展させ、社会性を育む。</p> <p>&lt;自己の理解と行動の調整&gt; 自分の行動の特徴を理解し、気持ちや情動を調整する支援を行う。</p> <p>&lt;仲間づくりと集団への参加&gt; 手順やルールを理解し集団活動に参加できるよう支援するとともに、相互理解や仲間づくりを支援する。</p>	<p>傾聴の訓練:（ペアワーク活動） こどもをペアで組分けし、交代で話す時間を設けます。一方が話している間、もう一方は集中して聞くことに専念し、その後話の内容をまとめてフィードバックします。これにより、相手の話をしっかりと聞くスキルを養います。</p> <p>他者の視点理解の訓練:（ロールプレイング） 子供たちに異なる役割を割り当て、さまざまなシナリオでロールプレイを実施します。例えば、ある子供が店員、他の子供が客になる等です。これにより、他者の立場や感情を理解し、共感力を養います。また、シナリオを社会的なものにすることで社会進出・自立を目指します。</p> <p>自己評価と認識の課題:（自己評価シート） 自己評価シート:自己評価シートを用い、自身の得意なこと、不得意なこと、目標等を書き出します。これにより、自己理解を深め、自身の成長や課題に対する認識を高めます。本人が課題を理解したうえで取り組むことで支援の定着率を向上させます。</p>
家族支援	日頃から保護者様との連携を大切にし、ご家庭の課題を詳細にお伺いしながら具体例を用いて解決を図る支援を行っております。支援中の些細な変化も共有を行っております。更に、レスパイトケアの観点から、延長支援等も実施しております。	移行支援	学校や学童訪問時に、お子様の情報を先生方と共有しております。また、必要な対応について話し合うことや、些細な変化についても情報共有を行っております。	
地域支援・地域連携	他の事業所との連携を行うことで情報共有を密に行いながら常に療育の質の向上に努めております。また、避難訓練等を近隣住民と実施したりと地域の障害児及び支援への理解を深める活動を実施しております。	職員の質の向上	法定研修に加え、外部講師による研修に積極的に参加させることで、多様な視点からの判断力、洞察力、および考え方を養っています。社員が自身のスキルを常に向上させるだけでなく、従業員間での知識共有や横展開を重視する社内文化を構築しています。	
主な行事等	日本の四季折々の文化や風習に触れることで、四季の変化および日本文化に対する理解を深めるております。また、各行事毎の取り組みを実施しております。（新年、節分、雛祭り、子供の日、七夕、夏祭り、お月見、クリスマス等）			